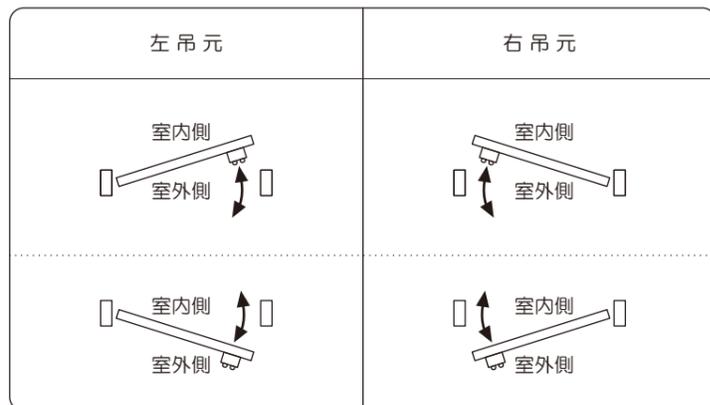


## 吊元の確認

下図で吊元を確認します。



## 記憶番号設定に関するご注意

- KL500は1～12桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は自由です。順番は関係ありません。  
例) 記憶番号 1・2・3 の場合  
1・2・3 と押しても 2・3・1 3・1・2 1・3・2 と押しても解錠できます。
- 1つのボタンにつき設定は1回だけです。(同じボタンを2度押しする設定はできません)  
例) 1・1・2・3 や 1・2・2・3 の設定はできません。



注意 危険防止の為に以下をお読みください

- 取付時の注意
  - 各部取付ねじの締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。
- 取付ねじのゆるみ
  - 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為に定期的に増し締めしてください。
- 他の用途への使用
  - ロックターンやサムターンにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。
- ◆ 操作上の注意 (故障の原因となります)
  - 製品の分解、改造はしないでください。
  - テッドラッチ(鎌テッド)を突出させた状態で扉を閉めないでください。
  - ボタンを押しながら、ロックターンの操作をしないでください。
- ◆ 永くご使用頂くために
  - 錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。
  - 表面の手入れは柔らかな布でから拭きしてください。汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してください。



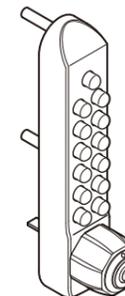
ドアの吊り下がり、扉の開閉速度、丁番の具合など異常がありましたら専門の業者にご相談ください。

# KEYLEX<sup>®</sup> 500

KL500 鍵付  
MIWA  
(AD・AH/LAT・LAL/FGT)  
シリンダー取替

## 取扱説明書 (施主様向)

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



22276M

防犯上、定期的に記憶番号の変更をされますようおすすめ致します。

〈記憶番号の記録〉		
年	月	日
年	月	日
年	月	日
年	月	日
年	月	日
ただ今の記憶番号		

NAGASAWA

www.nagasawa-mfg.co.jp

株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)  
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032  
大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)  
FAX. 06-6783-5092

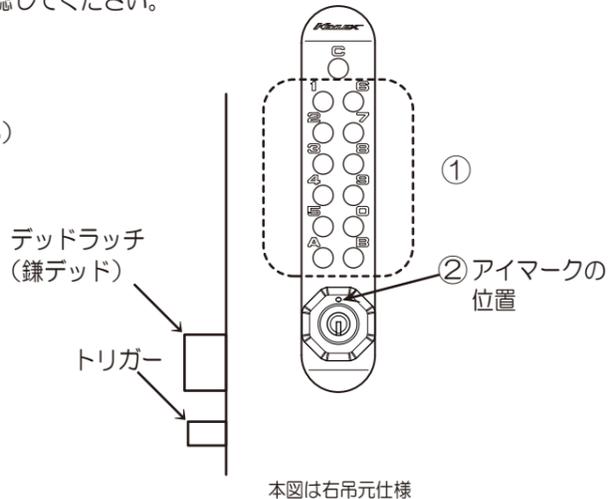
### 基本操作

シリンダーでの鍵操作が、ボタン操作に代わります。ご使用前に確認してください。

- ① 登録している記憶番号
- ② ロックターンのアイマークが 図の位置 (真上) にある
- ③ デッドラッチを押すと錠に収まる (鎌デッドは錠に収まっている)  
(突き出ている場合は、ロックターンを操作して、デッドラッチ (鎌デッド) を正常位置に戻す)

※ 記憶ボタン操作の代わりにキー操作でも施解錠できます。

- 【施錠】シリンダーにキーを入れ回し、デッドラッチ (鎌デッド) が出ることを確認します。
- 【解錠】シリンダーにキーを入れ回し、デッドラッチ (鎌デッド) が収まることを確認します。



室内側

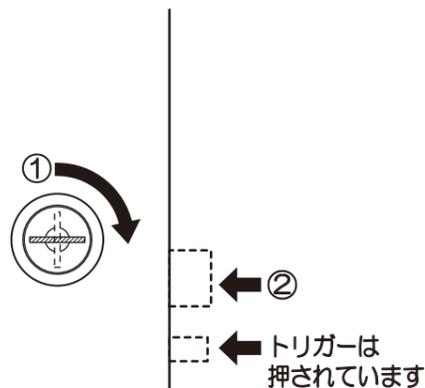
室外側

#### 施錠

扉を閉めれば施錠されます

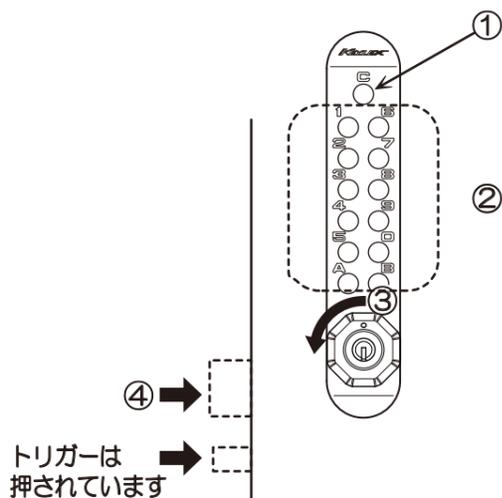
#### 解錠

- ① サムターンを回します。  
(ない時にはレバーハンドルを作動させます)。
- ② デッドラッチ (鎌デッド) が収まることを確認します。



#### 解錠

- ① C ボタンを押す：誤操作の記憶番号が解除されます。
- ② 正しい記憶番号を押します。
- ③ ロックターンを回します。
- ④ デッドラッチ (鎌デッド) が収まることを確認します。

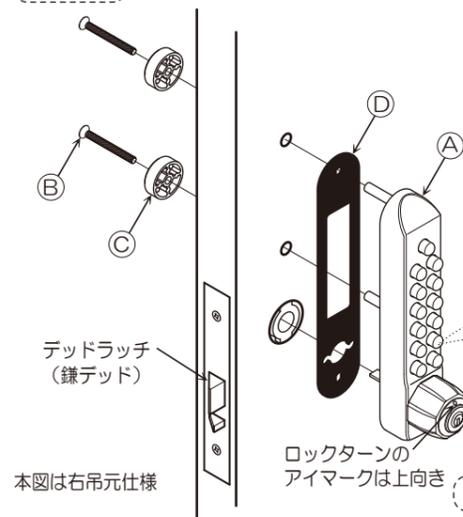


※ 本図は右吊元仕様です。左吊元時は対称です。

### 記憶番号の変更手順 扉は開けたままの状態でおこないます

#### 【1】キーレックス本体を取り外します

室内側



本図は右吊元仕様

錠のデッドラッチ (鎌デッド) が収まっている状態で取り外します。取り外した部材は全て使います。紛失しないようご注意ください。

- I: ⑤ キーレックス本体の落下に注意しながら、⑥ 本体固定ねじを外します。
  - II: ⑤ キーレックス本体、⑦ 室内丸座、⑧ 樹脂ベースを取り外します。
- ※: 取り付け時は、デッドラッチ (鎌デッド) は解錠状態、ロックターンのアイマークは上向き、テールピース固定ねじの位置は吊元 (裏面参照) とあわせませす。

⑨裏側【吊元とテールピース固定ねじの位置】

左吊元

右吊元



室外側

#### 【2】記憶番号の設定変更をします。

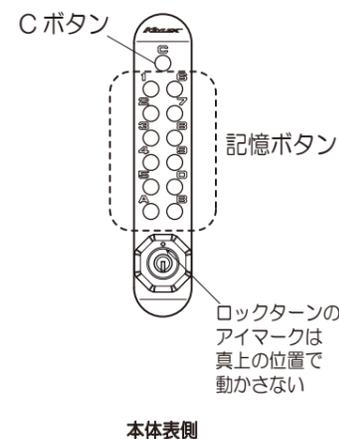
##### 【記憶番号変更の準備】

- ① 本体表側の C ボタンを押します。

⚠ ⑦まで、記憶ボタンは押さないでください。

※ C ボタンを押さないと、内部部品が破損する場合があります。必ず押してください。

- ② 本体を裏返します。

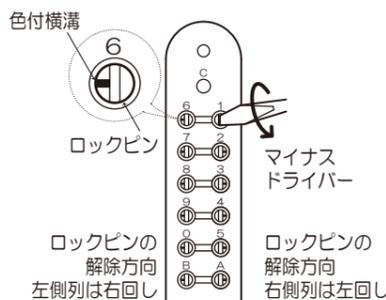


本体表側

##### 【現在の記憶番号を解除】

- ③ 本体裏側の、記憶されているロックピンを回転させて記憶されている番号を解除します。(ロックピンの色付横溝を外向きに回転させる)

- ④ 本体を表側にし、ロックターンが左右 90 度ずつ回転する事を確認します。

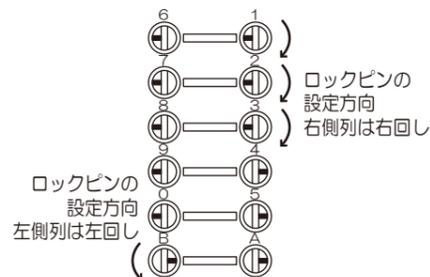


本体裏側

##### 【記憶番号の設定】

- ⑤ 新しく記憶させる番号は必ず記録してください。本紙表紙に記入欄があります。
- ⑥ 本体を裏返し、記憶させる番号のロックピン色付横溝を中央ライン側に合わせます。

例: B 1 2 3



- ⑦ C ボタン + 新しい記憶番号を押し、ロックターンが解錠方向に回ることを確認します。

基本操作 室外側欄を参照します。

#### 【3】本体を取り付けます

【1】と逆の順番で取り付けます。

左の基本操作に沿って、作動確認をして完了です。錠のトリガーを押えたまま (閉扉と同じ状態にする為) おこないます。正しく作動しない場合は、記憶番号、テールピースの取り付け位置、吊元にあわせたテールピース固定ねじの向きを確認をしてください。